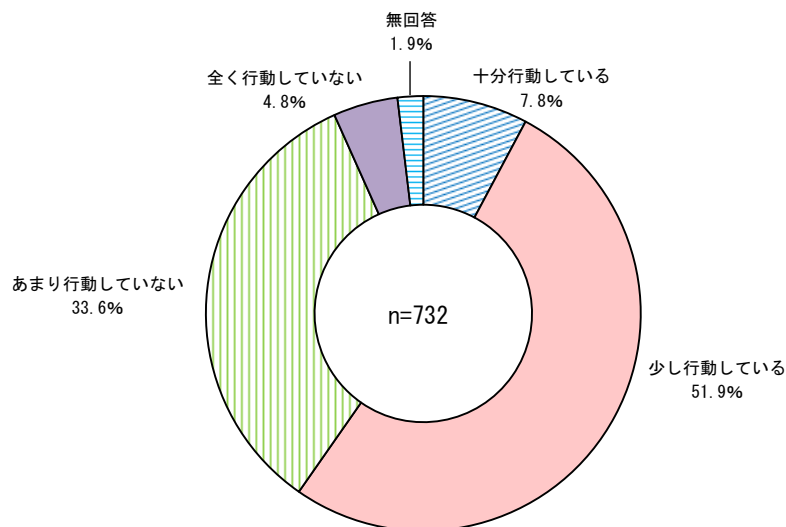


### 3 環境問題に関する道民の関心・取り組み状況について

問 15 あなたは、日常生活において環境に配慮した行動をどの程度行っていますか。  
次の中から1つだけお選びください。



#### 【全体】

「少し行動している」(51.9%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「あまり行動していない」(33.6%)、「十分行動している」(7.8%)の順となっている。

#### 【圏域別】

「少し行動している」については、釧路・根室連携地域(53.3%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(53.0%)となっている。「あまり行動していない」については、道北連携地域とオホーツク連携地域(40.0%)が同率で最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域(35.6%)となっている。

#### 【人口規模別】

「少し行動している」については、人口10万人以上の市(55.0%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(53.5%)となっている。「あまり行動していない」については、町村部(42.9%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(34.1%)となっている。

#### 【性別】

「少し行動している」については、男性48.4%、女性55.2%となっており、「あまり行動していない」については、男性33.6%、女性33.8%となっている。

#### 【年代別】

「少し行動している」については、70歳以上(60.0%)が最も割合が高く、次いで18～29歳(54.0%)となっている。「あまり行動していない」については、30～39歳(41.0%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(37.6%)となっている。

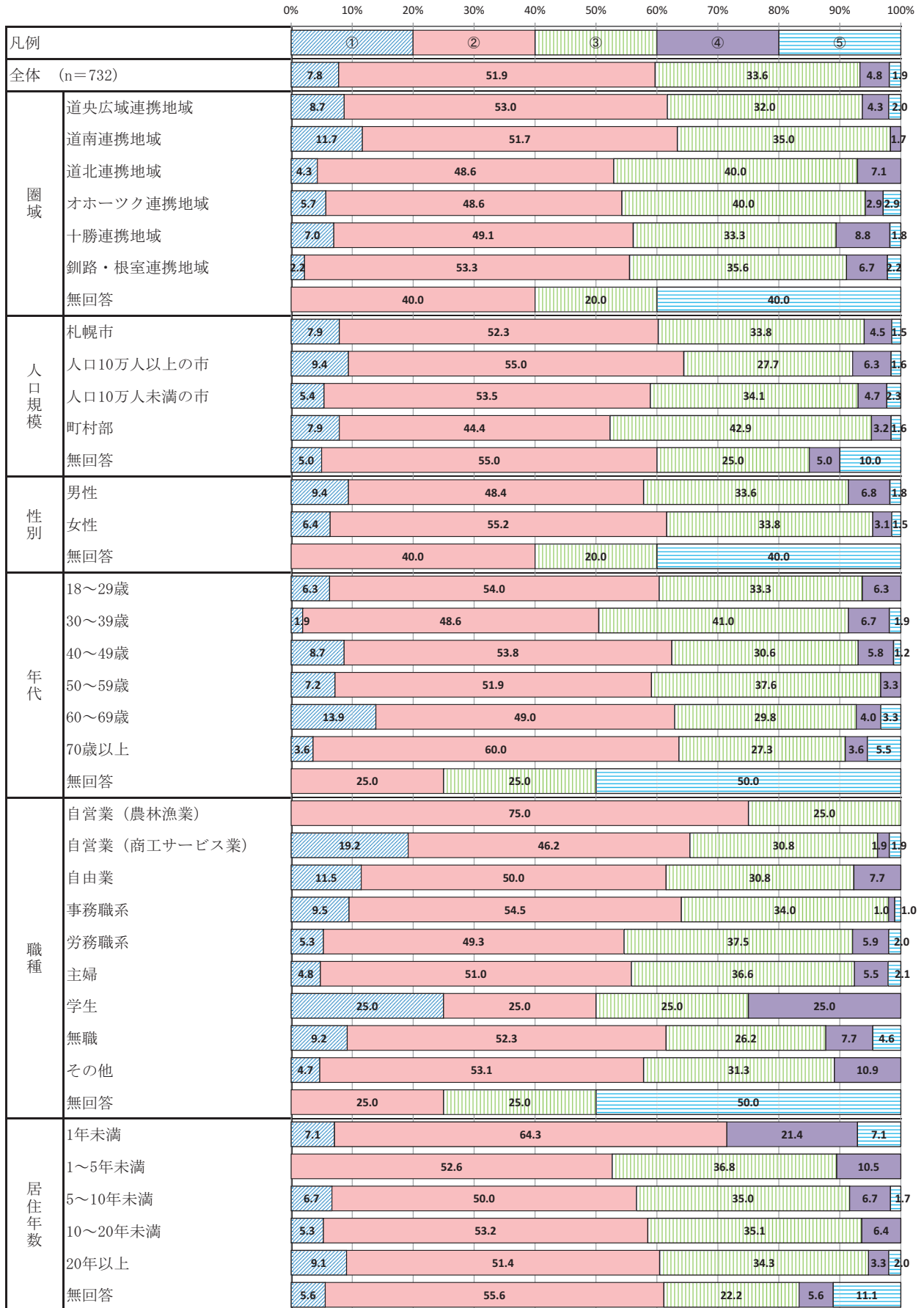
#### 【職種別】

「少し行動している」については、自営業(農林漁業)(75.0%)が最も割合が高く、次いで事務職系(54.5%)となっている。「あまり行動していない」については、労務職系(37.5%)が最も割合が高く、次いで主婦(36.6%)となっている。

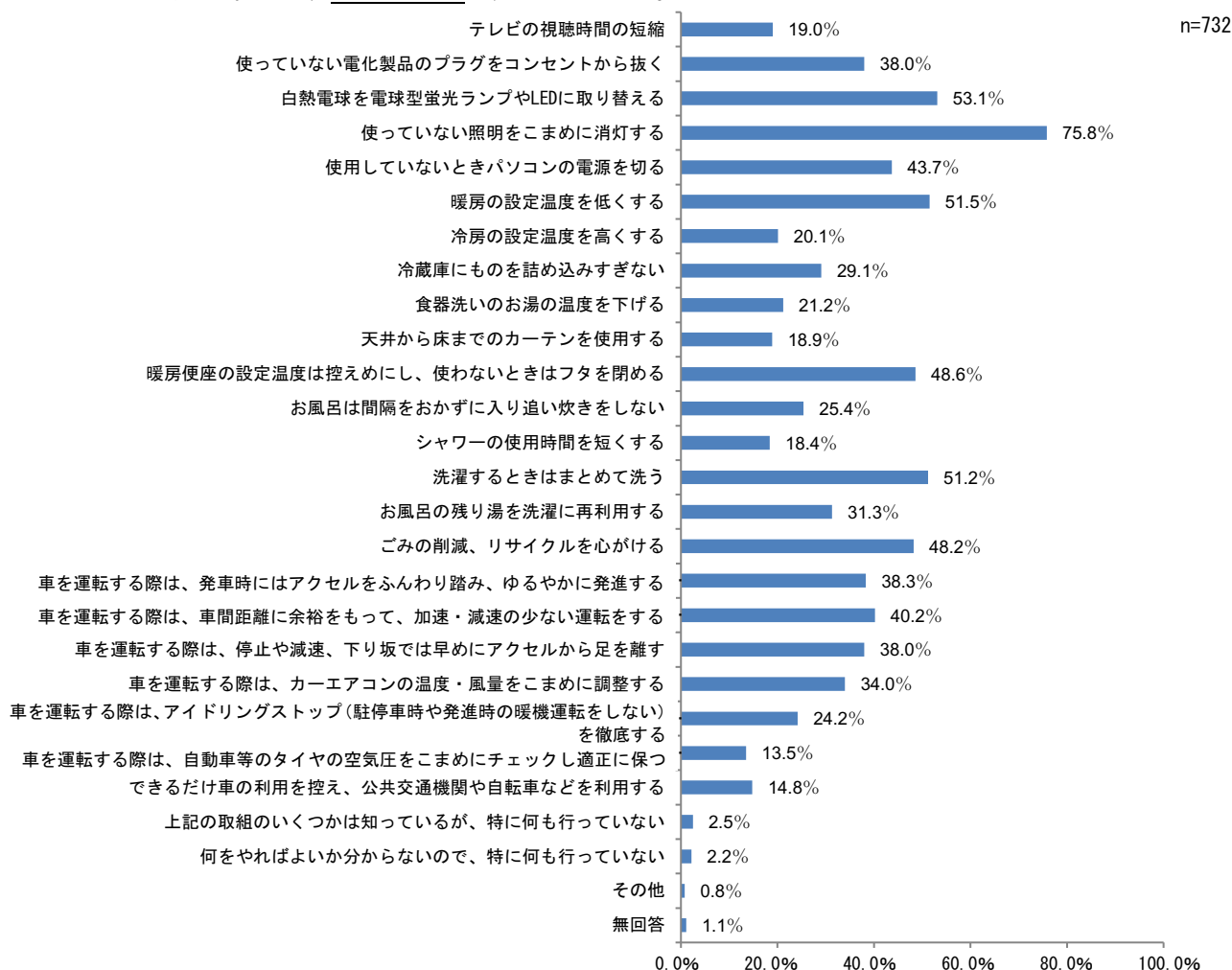
#### 【居住年数別】

「少し行動している」については、1年未満(64.3%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(53.2%)となっている。「あまり行動していない」については、1～5年未満(36.8%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(35.1%)となっている。

①十分行動している      ②少し行動している      ③あまり行動していない  
 ④全く行動していない      ⑤無回答



問 16 あなたは日常生活の中で、地球温暖化防止に向けてどのような取組を行っていますか。  
次の中から、いくつでもお選びください。



【全体】

「使っていない照明をこまめに消灯する」（75.8%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」（53.1%）、「暖房の設定温度を低くする」（51.5%）の順となっている。

【圏域別】

「使っていない照明をこまめに消灯する」については、道央広域連携地域（78.3%）が最も割合が高く、次いで十勝連携地域（77.2%）となっている。「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」については、オホーツク連携地域（60.0%）が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域（55.7%）となっている。

【人口規模別】

「使っていない照明をこまめに消灯する」については、札幌市（77.8%）が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市（77.5%）となっている。「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」については、人口10万人未満の市（57.4%）が最も割合が高く、次いで町村部（53.2%）となっている。

【性別】

「使っていない照明をこまめに消灯する」については、男性66.1%、女性84.5%となっており、「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」については、男性52.5%、女性54.1%となっている。

**【年代別】**

「使っていない照明をこまめに消灯する」については、18～29 歳（79.4%）が最も割合が高く、次いで50～59 歳（78.5%）となっている。「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」については、50～59 歳（63.0%）が最も割合が高く、次いで70 歳以上（61.8%）となっている。

**【職種別】**

「使っていない照明をこまめに消灯する」については、主婦（85.5%）が最も割合が高く、次いで自営業（商工サービス）（78.8%）となっている。「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」については、その他（70.3%）が最も割合が高く、次いで主婦（60.7%）となっている。

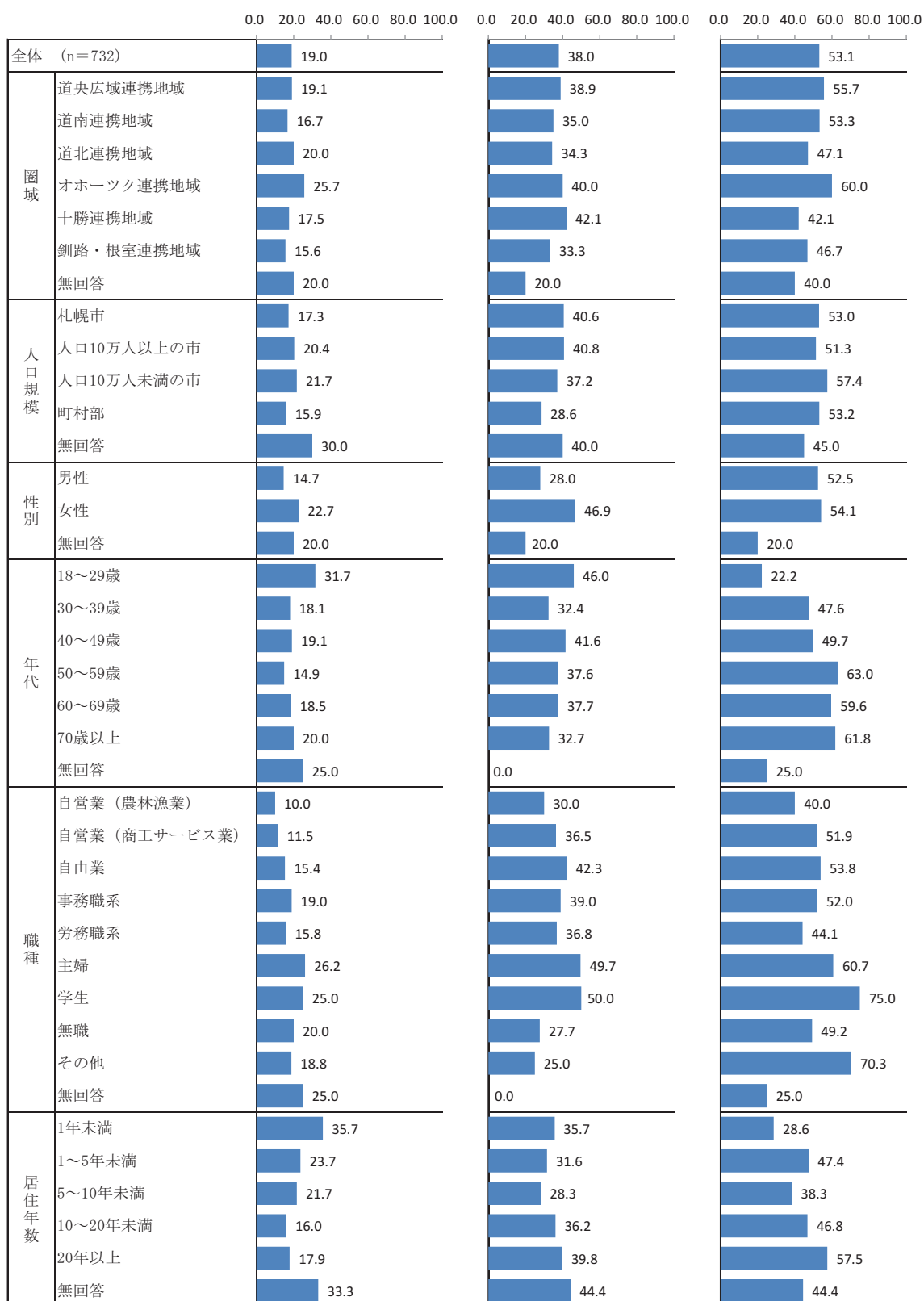
**【居住年数別】**

「使っていない照明をこまめに消灯する」については、10～20 年未満と20 年以上（76.6%）が同率で最も割合が高く、次いで5～10 年未満（73.3%）となっている。「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」については、20 年以上（57.5%）が最も割合が高く、次いで1～5 年未満（47.4%）となっている。

テレビの視聴時間の短縮

使っていない電化製品のプラグ  
をコンセントから抜く

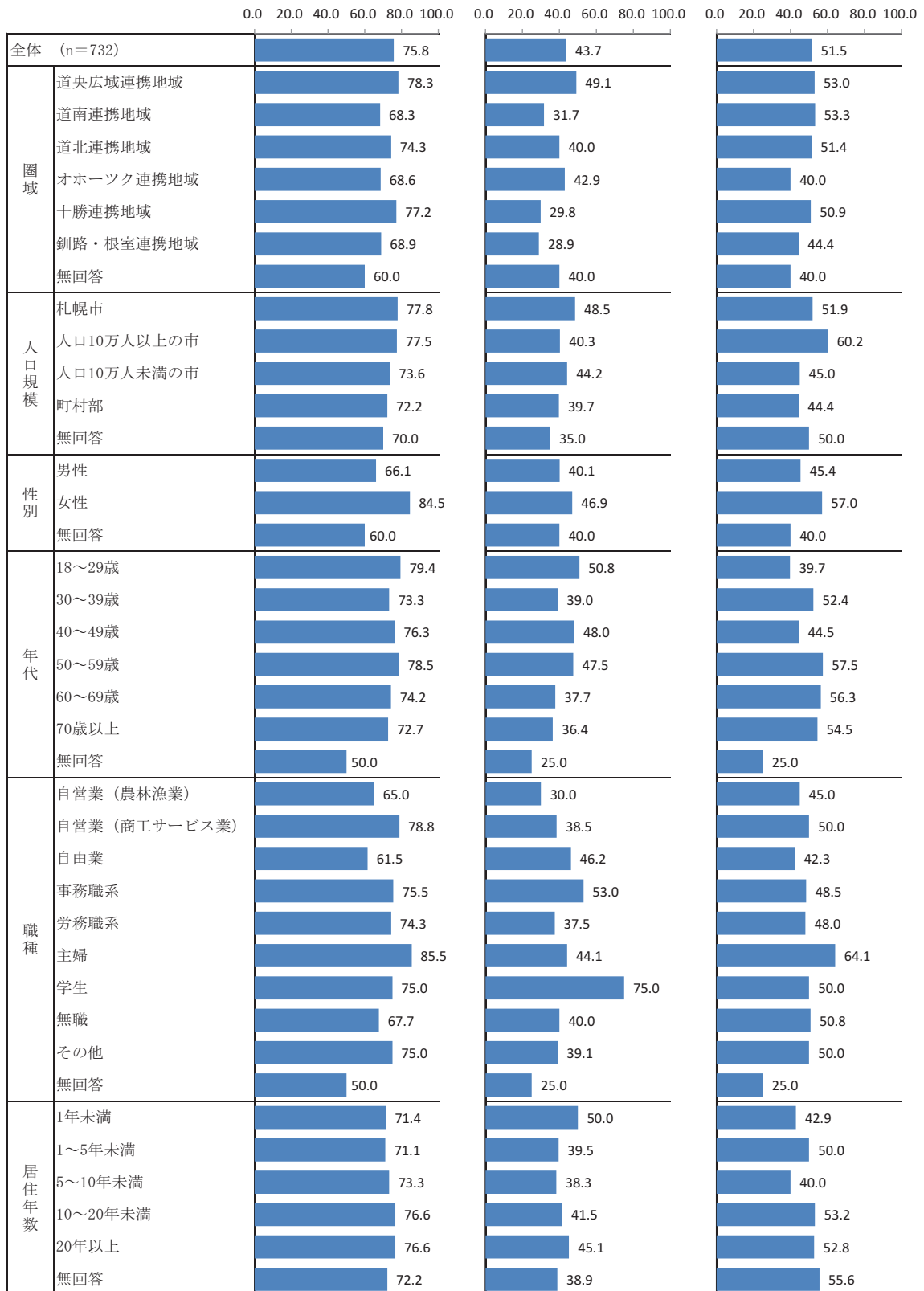
白熱電球を電球型蛍光灯  
やLEDに取り替える



使っていない照明をこまめに  
消灯する

使用していないときパソコンの  
電源を切る

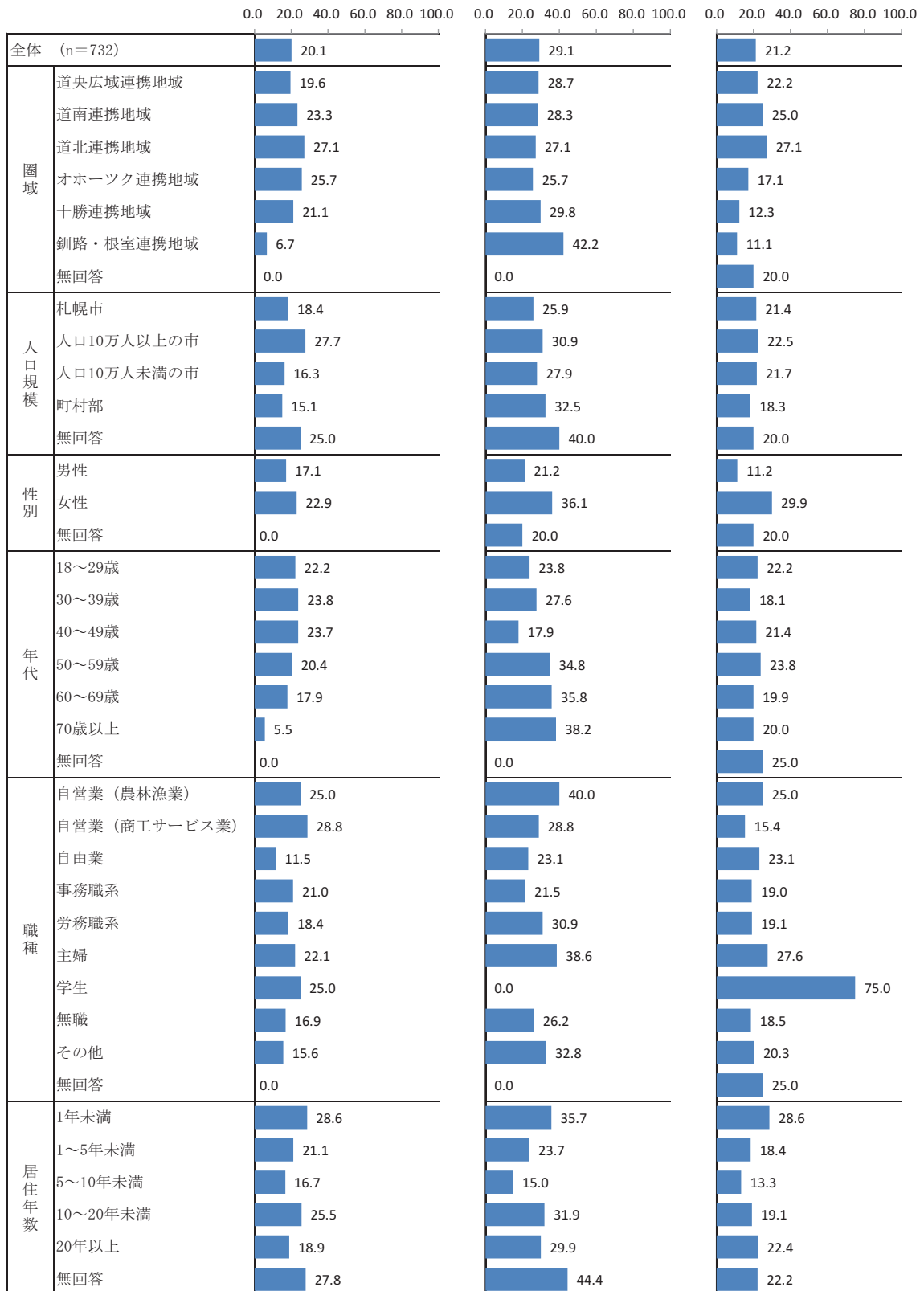
暖房の設定温度を低くする

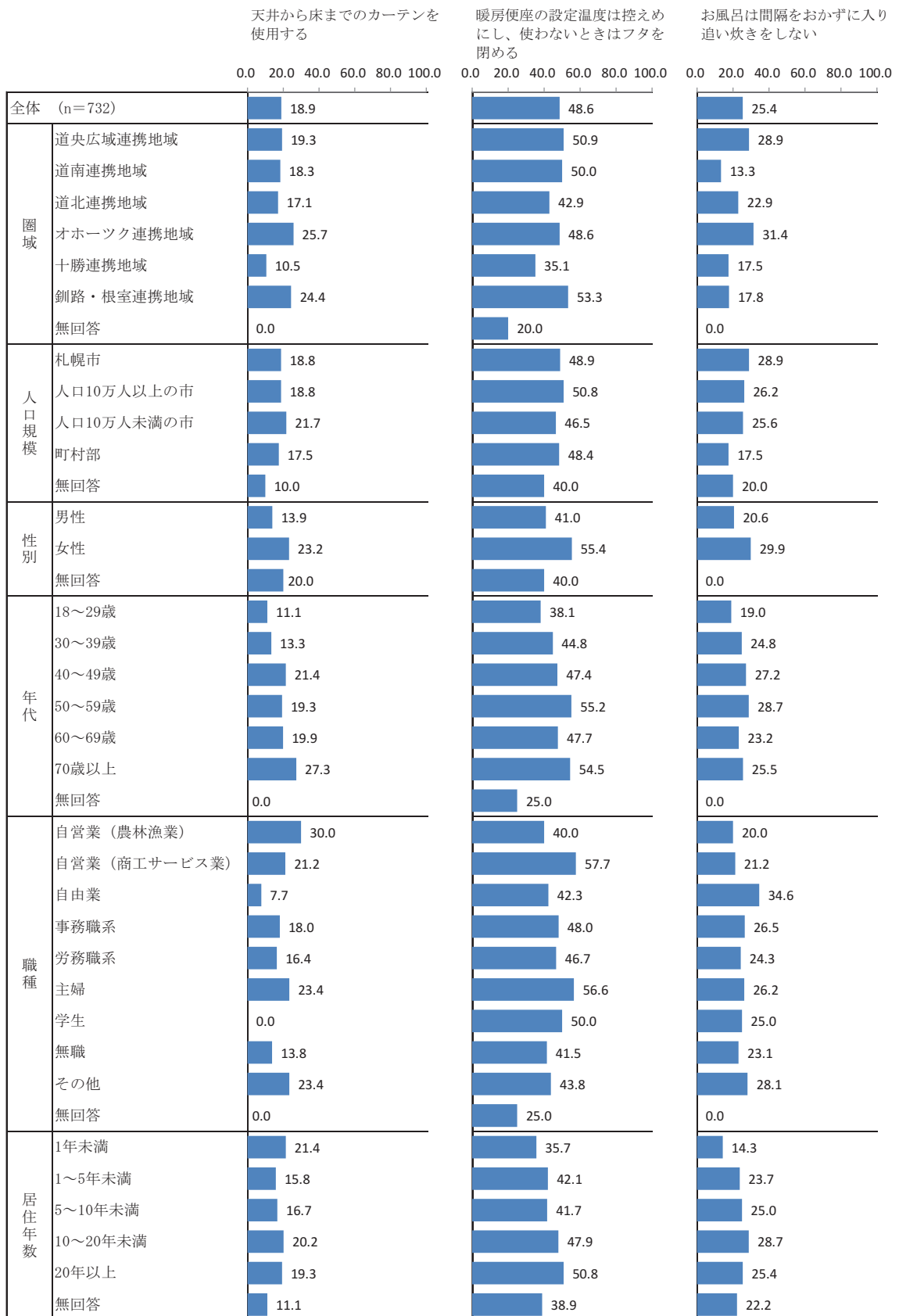


冷房の設定温度を高くする

冷蔵庫にものを詰め込みすぎない

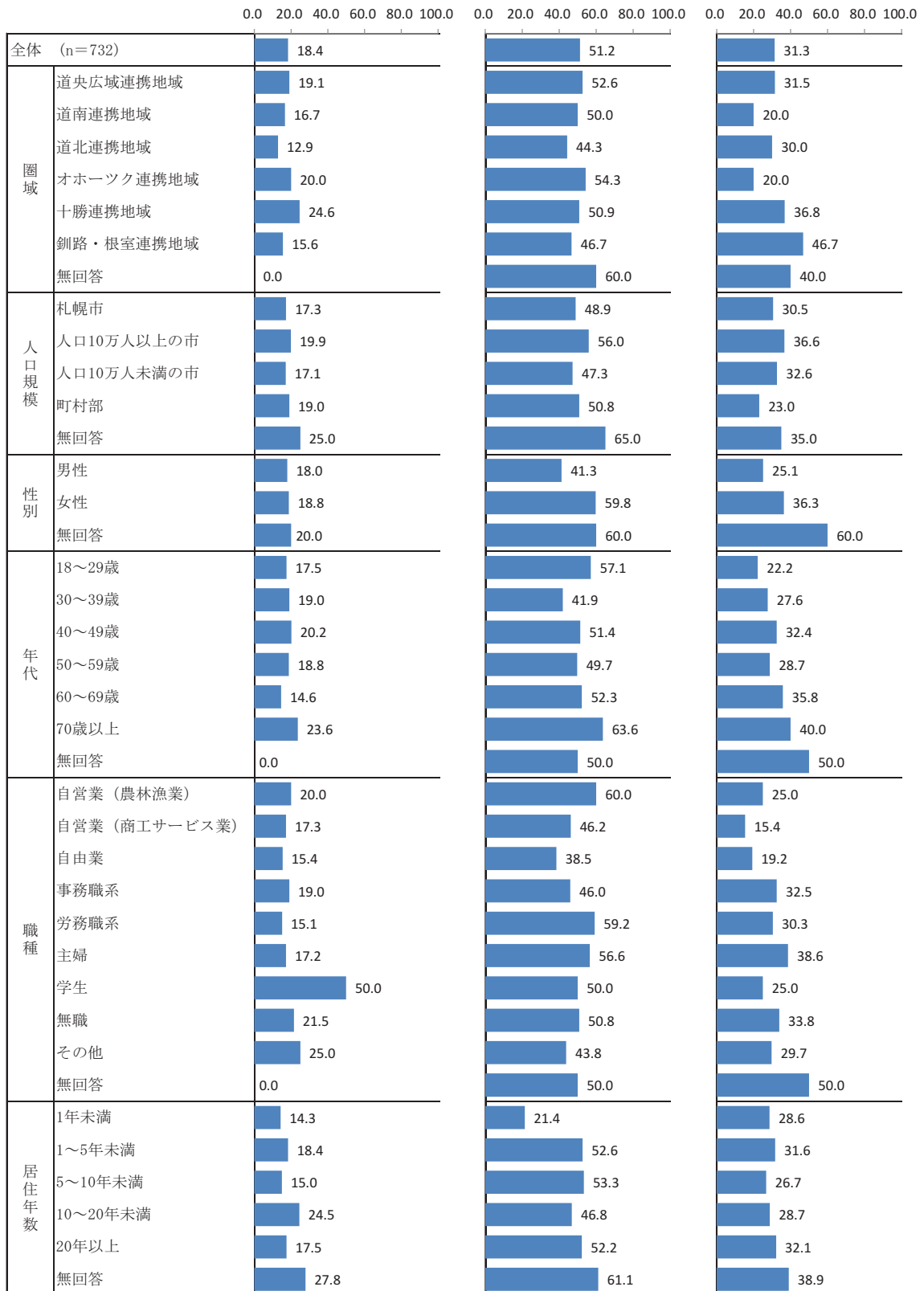
食器洗いのお湯の温度を下げる







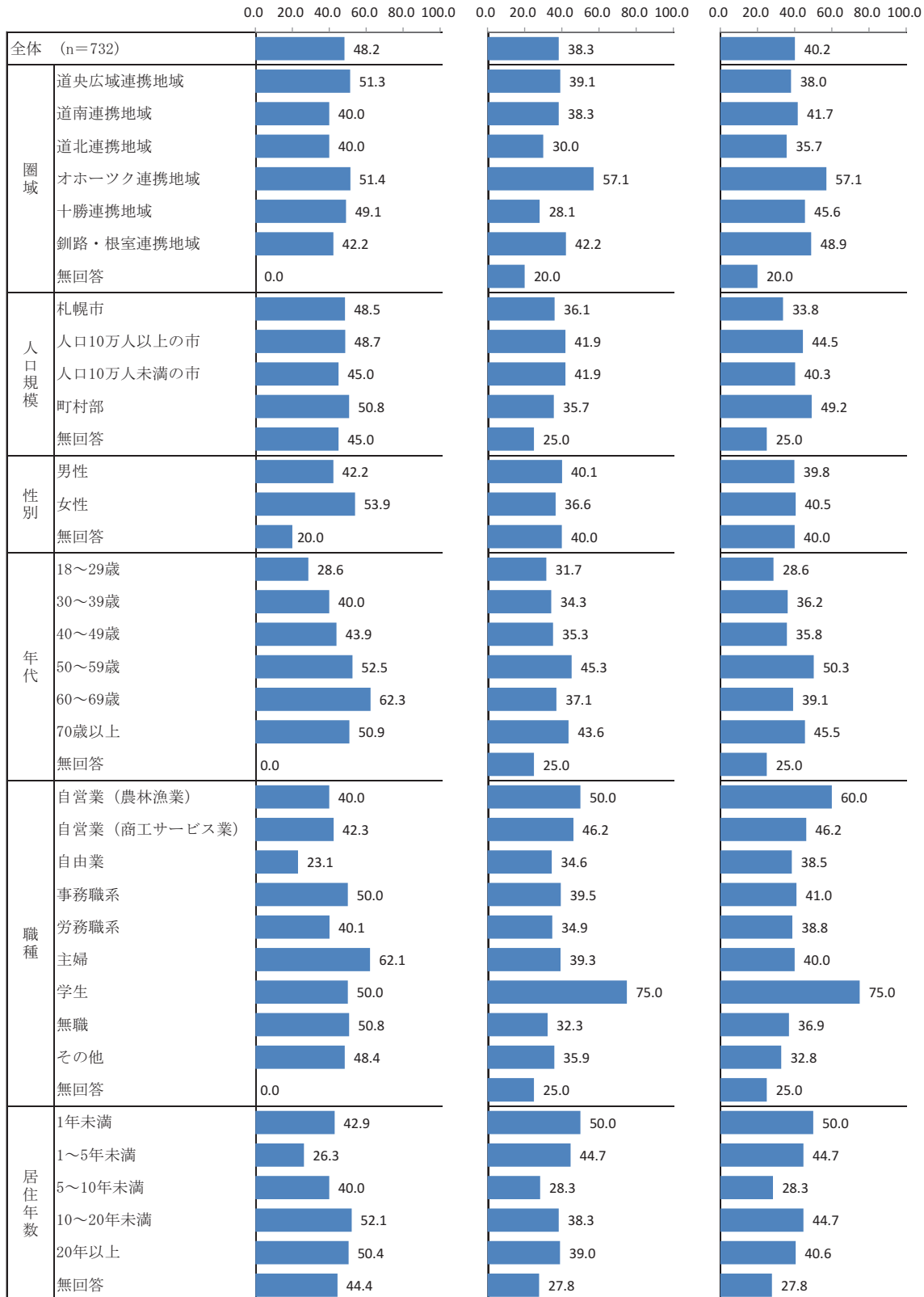
シャワーの使用時間を短くする      洗濯するときはまとめて洗う      お風呂の残り湯を洗濯に再利用する



ごみの削減、リサイクルを心がける

車を運転する際は、発車時にはアクセルをふんわり踏み、ゆるやかに発進する

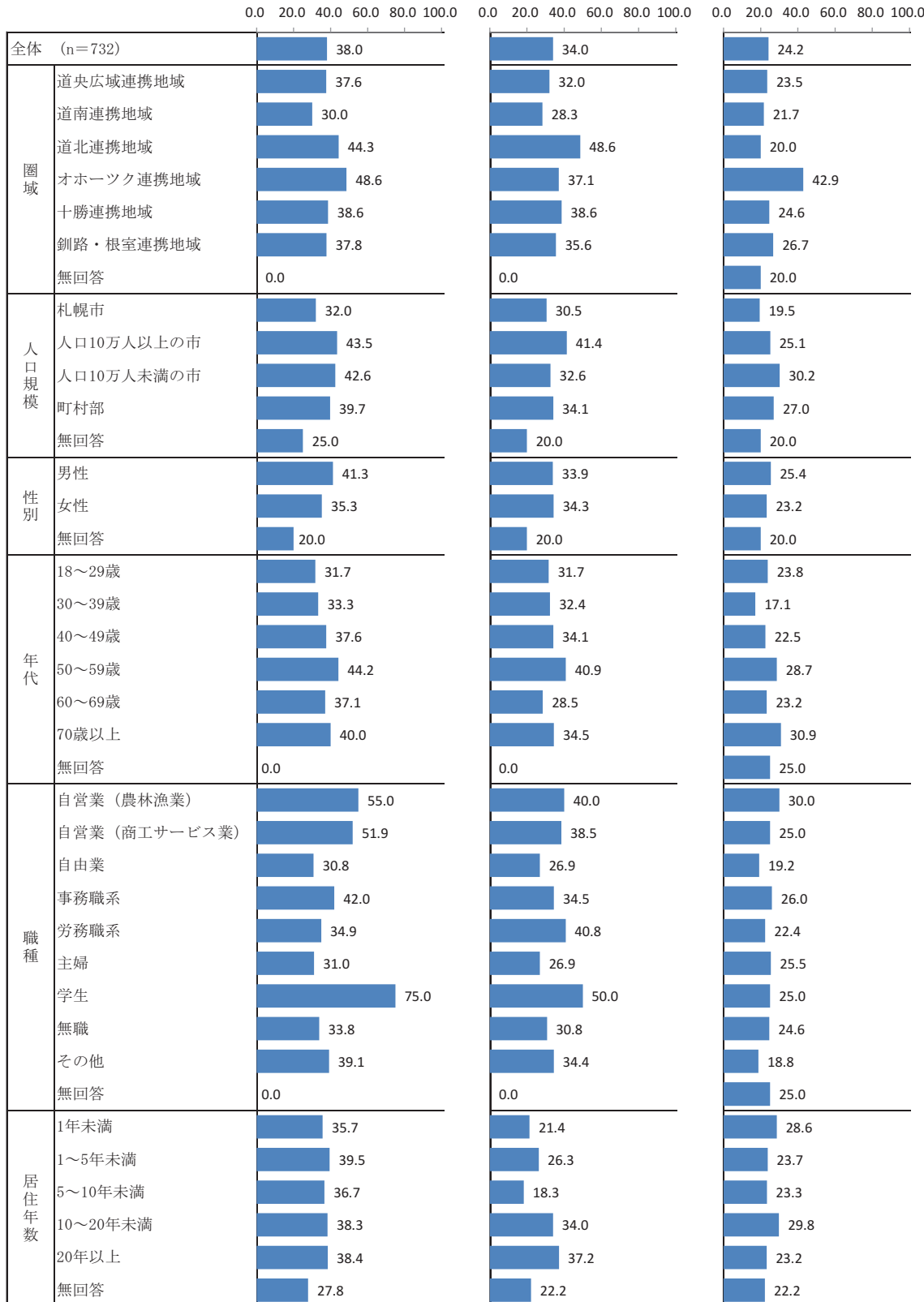
車を運転する際は、車間距離に余裕をもって、加速・減速の少ない運転をする



車を運転する際は、停止や減速、下り坂では早めにアクセルから足を離す

車を運転する際は、カーエアコンの温度・風量をこまめに調整する

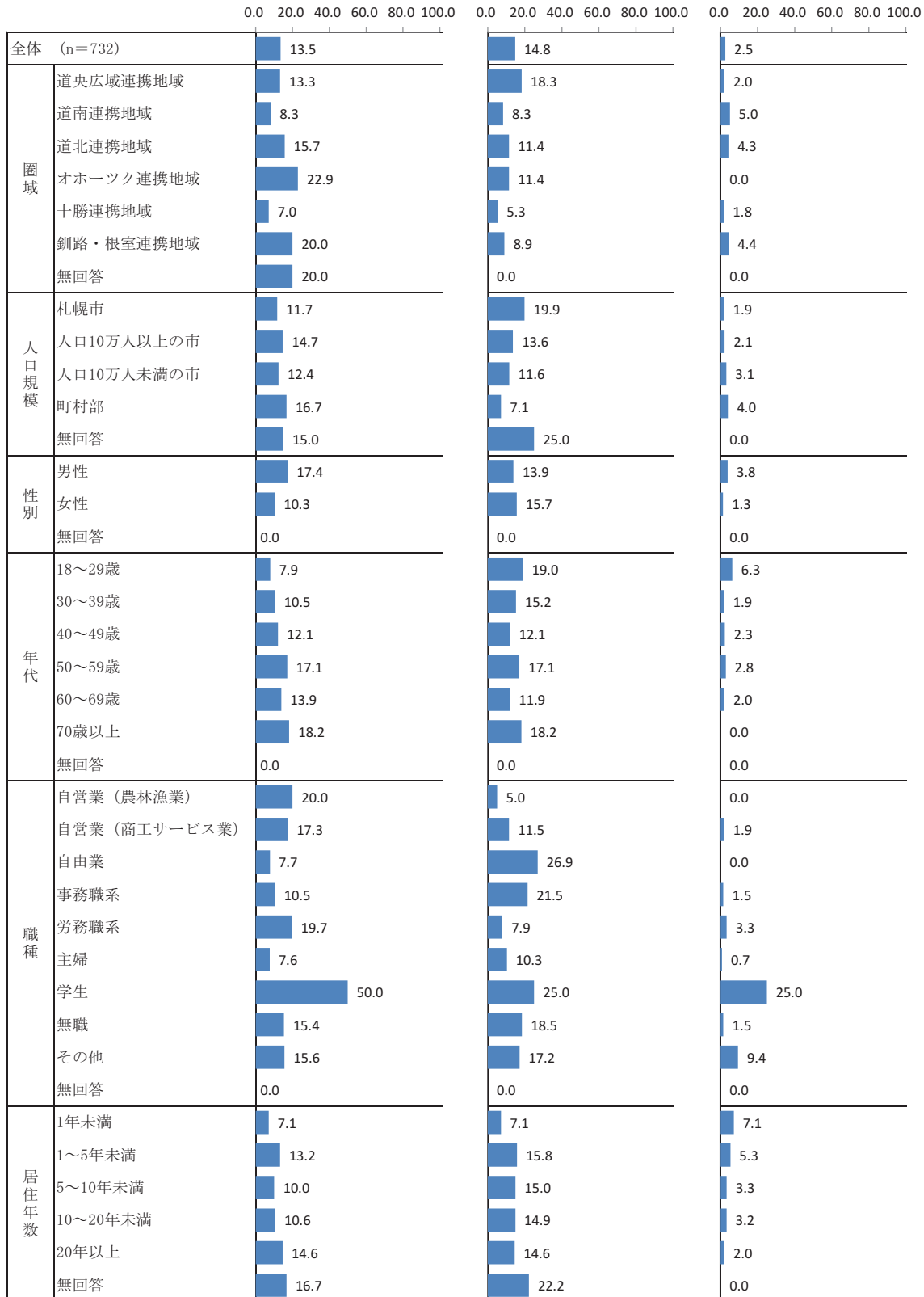
車を運転する際は、アイドリングストップ（駐停車時や発進時の暖機運転をしない）を徹底する



車を運転する際は、自動車等のタイヤの空気圧をこまめにチェックし適正に保つ

できるだけ車の利用を控え、公共交通機関や自転車などを利用する

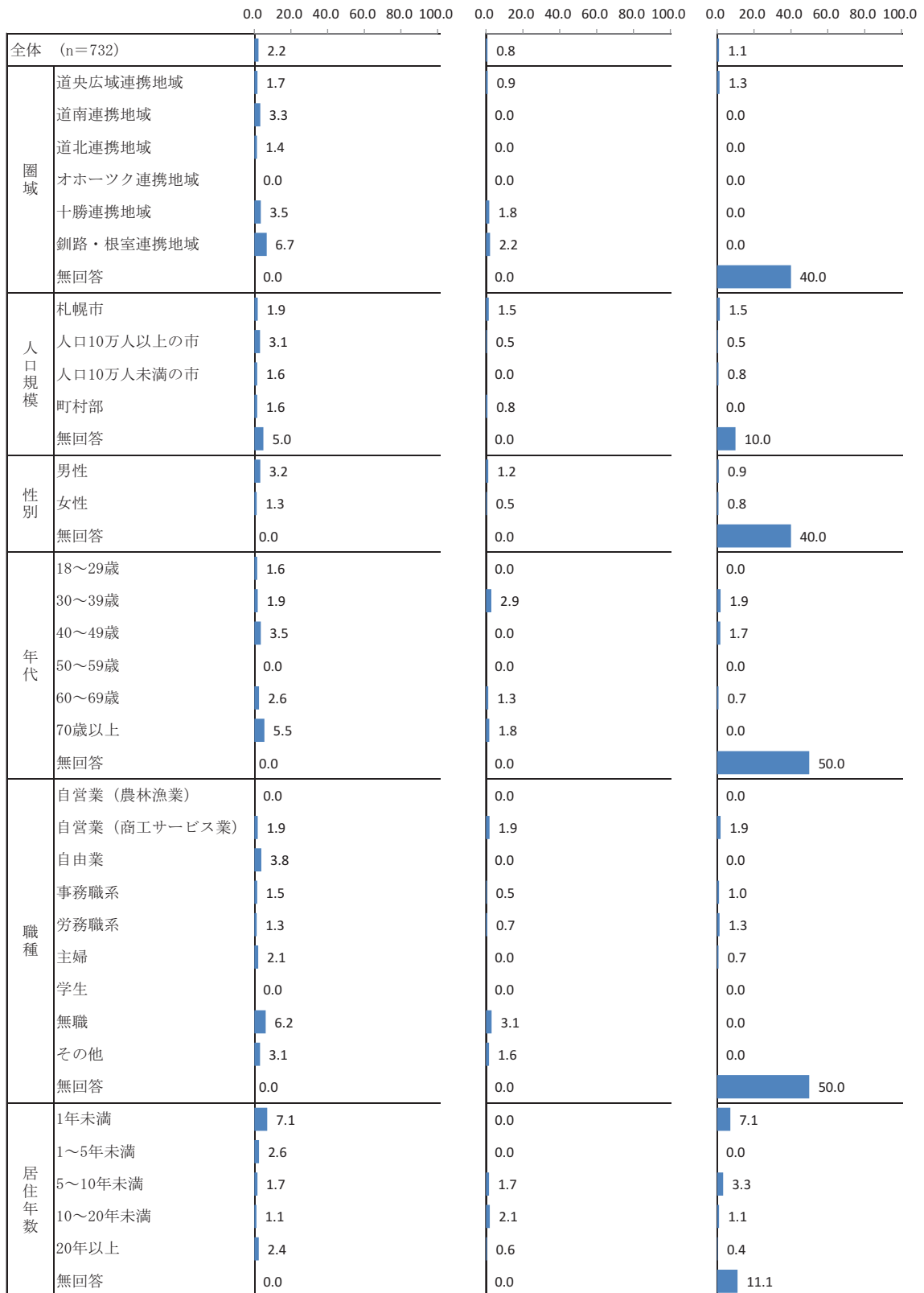
上記の取組のいくつかは知っているが、特に何も行っていない



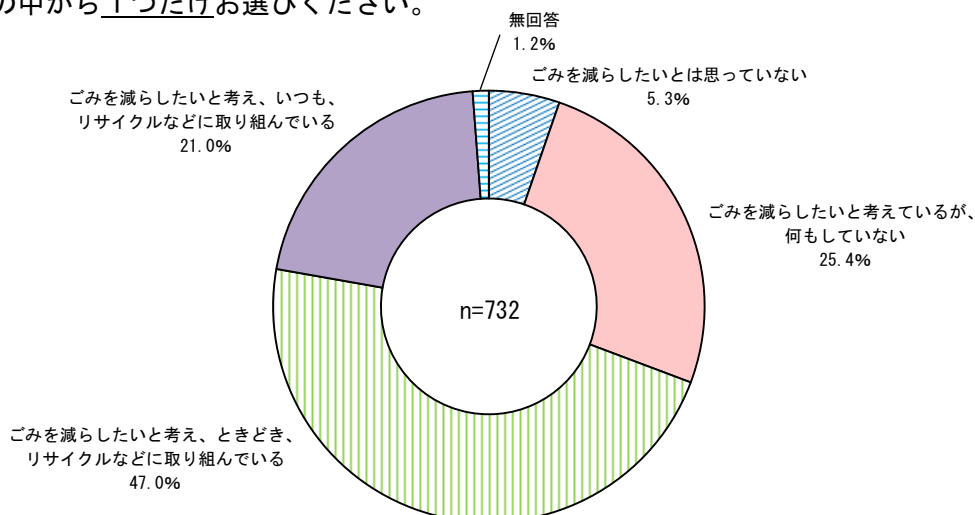
何をやればよいか分からないの  
で、特に何も行ってない

その他

無回答



問 17 あなたは、あなたの家庭からでるごみの減量化について、どのように考え、取り組んでいますか。次の中から1つだけお選びください。



### 【全体】

「ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる」(47.0%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない」(25.4%)、「ごみを減らしたいと考え、いつも、リサイクルなどに取り組んでいる」(21.0%)の順となっている。

### 【圏域別】

「ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる」については、道北連携地域(54.3%)が最も割合が高く、次いで道南連携地域(53.3%)となっている。「ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない」については、オホーツク連携地域(37.1%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(30.0%)となっている。

### 【人口規模別】

「ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる」については、人口10万人以上の市(52.4%)が最も割合が高く、次いで札幌市(49.2%)となっている。「ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない」については、人口10万人未満の市(30.2%)が最も割合が高く、次いで町村部(26.2%)となっている。

### 【性別】

「ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる」については、男性43.1%、女性50.5%となっており、「ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない」については、男性26.5%、女性24.5%となっている。

### 【年代別】

「ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる」については、30～39歳(51.4%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(51.0%)となっている。「ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない」については、18～29歳(50.8%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(30.5%)となっている。

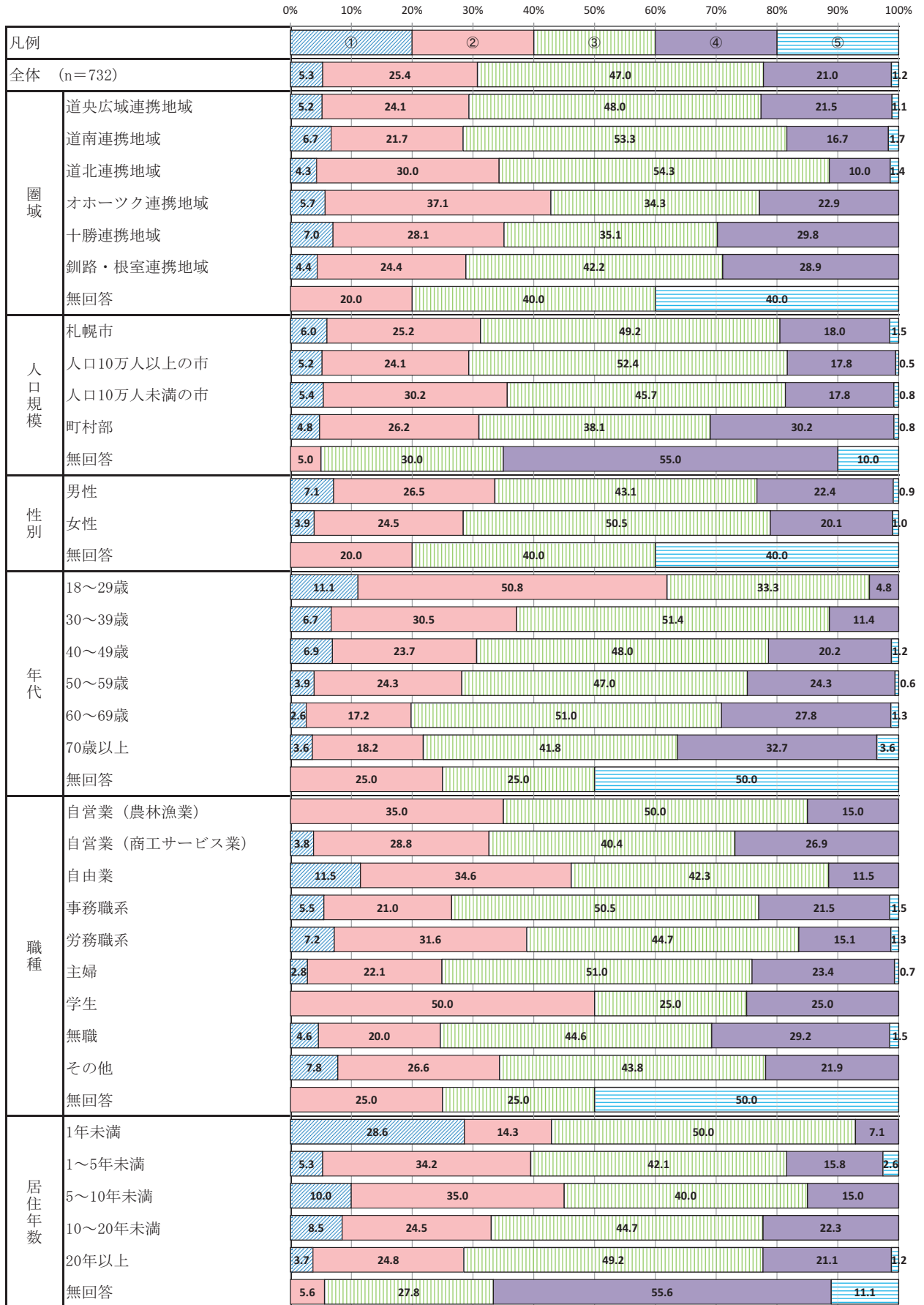
### 【職種別】

「ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる」については、主婦(51.0%)が最も割合が高く、次いで事務職系(50.5%)となっている。「ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない」については、自営業(農林漁業)(35.0%)が最も割合が高く、次いで自由業(34.6%)となっている。

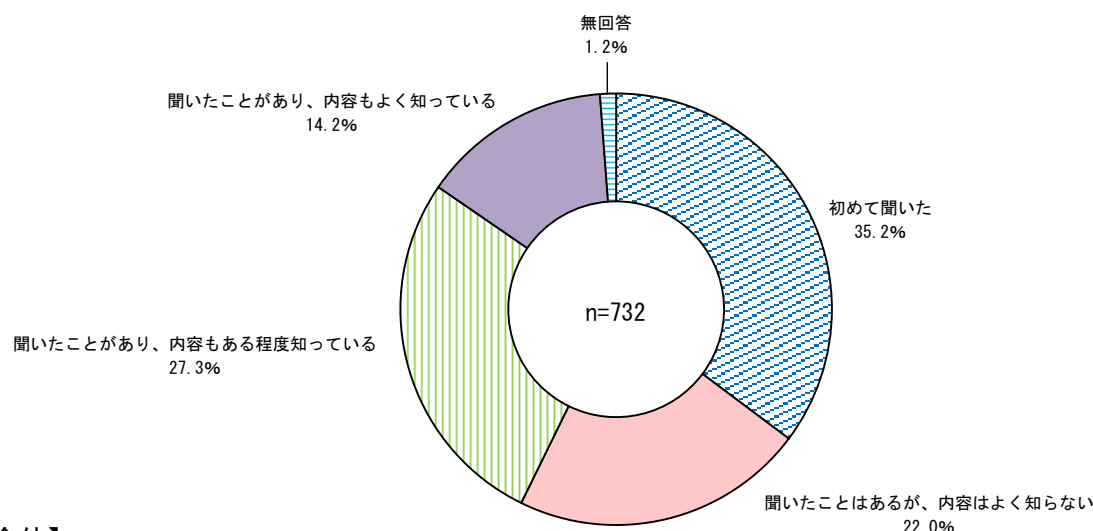
### 【居住年数別】

「ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる」については、1年未満(50.0%)が最も割合が高く、次いで20年以上(49.2%)となっている。「ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない」については、5～10年未満(35.0%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(34.2%)となっている。

- ①ごみを減らしたいとは思っていない ②ごみを減らしたいと考えているが、何もしていない  
 ③ごみを減らしたいと考え、ときどき、リサイクルなどに取り組んでいる  
 ④ごみを減らしたいと考え、いつも、リサイクルなどに取り組んでいる ⑤無回答



問 18 ごみの減量（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を併せて「3（スリー）R（アール）」といいます。あなたは、「3（スリー）R（アール）」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけお選びください。



#### 【全体】

「初めて聞いた」（35.2%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」（27.3%）、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」（22.0%）の順となっている。

#### 【圏域別】

「初めて聞いた」については、道南連携地域（46.7%）が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域（42.2%）となっている。「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」については、十勝連携地域（36.8%）が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域（34.3%）となっている。

#### 【人口規模別】

「初めて聞いた」については、人口 10 万人未満の市（38.8%）が最も割合が高く、次いで町村部（38.1%）となっている。「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」については、人口 10 万人以上の市（28.8%）が最も割合が高く、次いで町村部（27.8%）となっている。

#### 【性別】

「初めて聞いた」については、男性 37.5%、女性 33.2%となっており、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」については、男性 23.0%、女性 31.2%となっている。

#### 【年代別】

「初めて聞いた」については、70 歳以上（58.2%）が最も割合が高く、次いで 60～69 歳（48.3%）となっている。「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」については、18～29 歳（42.9%）が最も割合が高く、次いで 40～49 歳（37.0%）となっている。

#### 【職種別】

「初めて聞いた」については、無職（49.2%）が最も割合が高く、次いで自営業（商工サービス）（46.2%）となっている。「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」については、事務職系（37.0%）が最も割合が高く、次いで労務職系（26.3%）となっている。

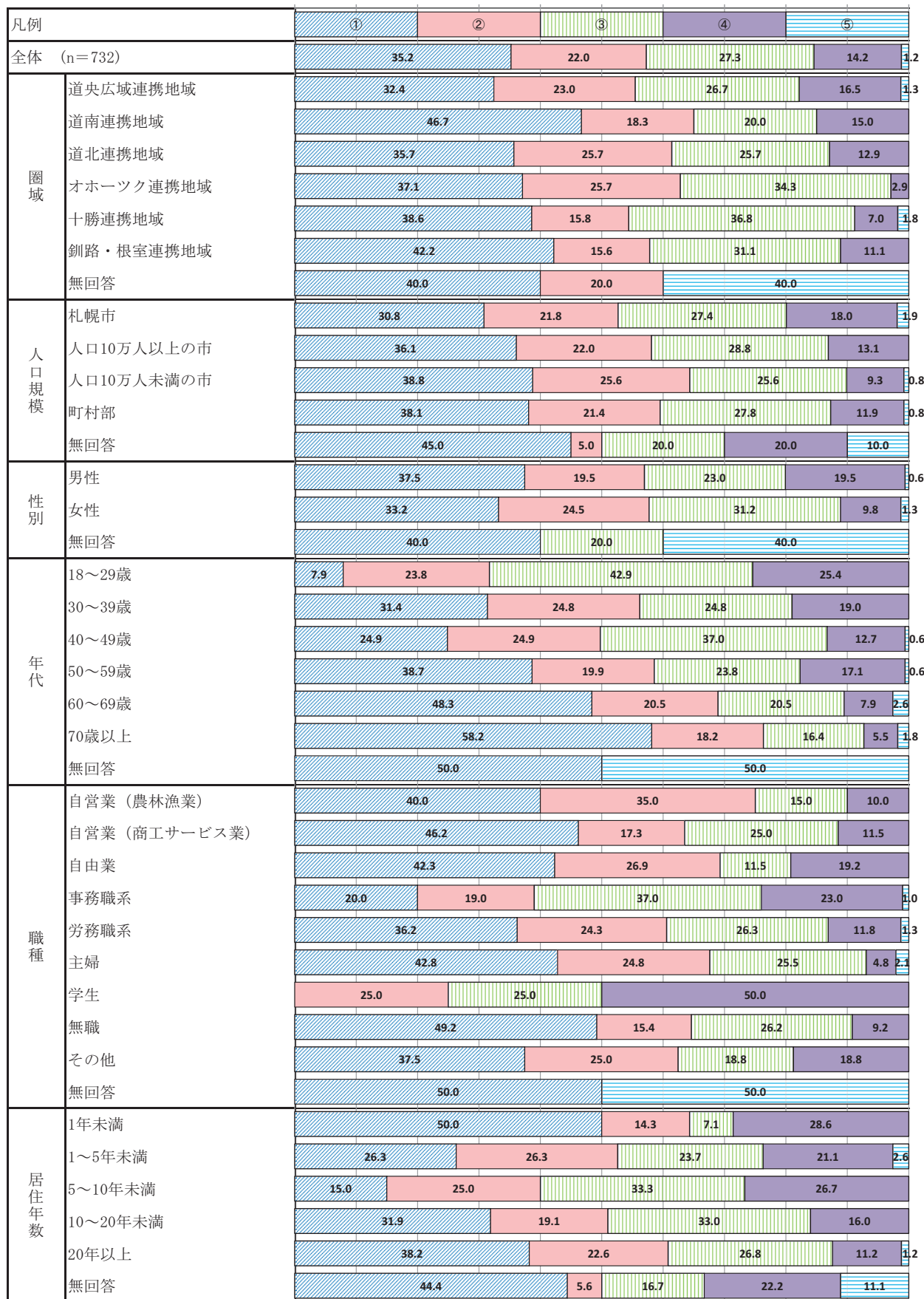
#### 【居住年数別】

「初めて聞いた」については、1 年未満（50.0%）が最も割合が高く、次いで 20 年以上（38.2%）となっている。「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」については、5～10 年未満（33.3%）が最も割合が高く、次いで 10～20 年未満（33.0%）となっている。

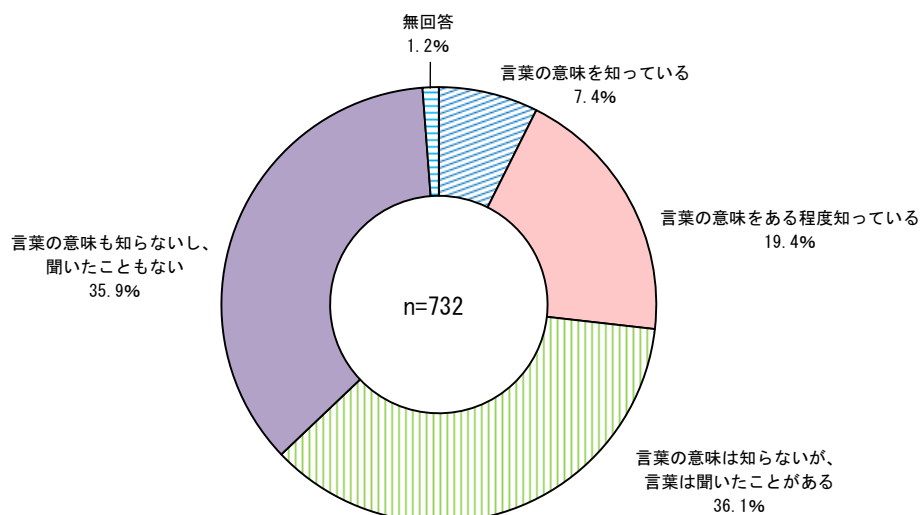


①初めて聞いた ②聞いたことはあるが、内容はよく知らない  
 ③聞いたことがあり、内容もある程度知っている ④聞いたことがあり、内容もよく知っている ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問 19 あなたは「生物多様性」という言葉をどの程度知っていますか。  
次の中から1つだけお選びください。



**【全体】**

「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」(36.1%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」(35.9%)、「言葉の意味をある程度知っている」(19.4%)の順となっている。

**【圏域別】**

「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」については、オホーツク連携地域(40.0%)が最も割合が高く、次いで十勝連携地域(36.8%)となっている。「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」については、道北連携地域(44.3%)が最も割合が高く、次いで道南連携地域(43.3%)となっている。

**【人口規模別】**

「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」については、人口10万人未満の市(41.9%)が最も割合が高く、次いで町村部(36.5%)となっている。「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」については、人口10万人未満の市(40.3%)が最も割合が高く、次いで町村部(38.9%)となっている。

**【性別】**

「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」については、男性32.4%、女性39.2%となっており、「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」については、男性31.6%、女性40.2%となっている。

**【年代別】**

「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」については、30～39歳(43.8%)が最も割合が高く、次いで18～29歳(42.9%)となっている。「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」については、40～49歳(40.5%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(39.0%)となっている。

**【職種別】**

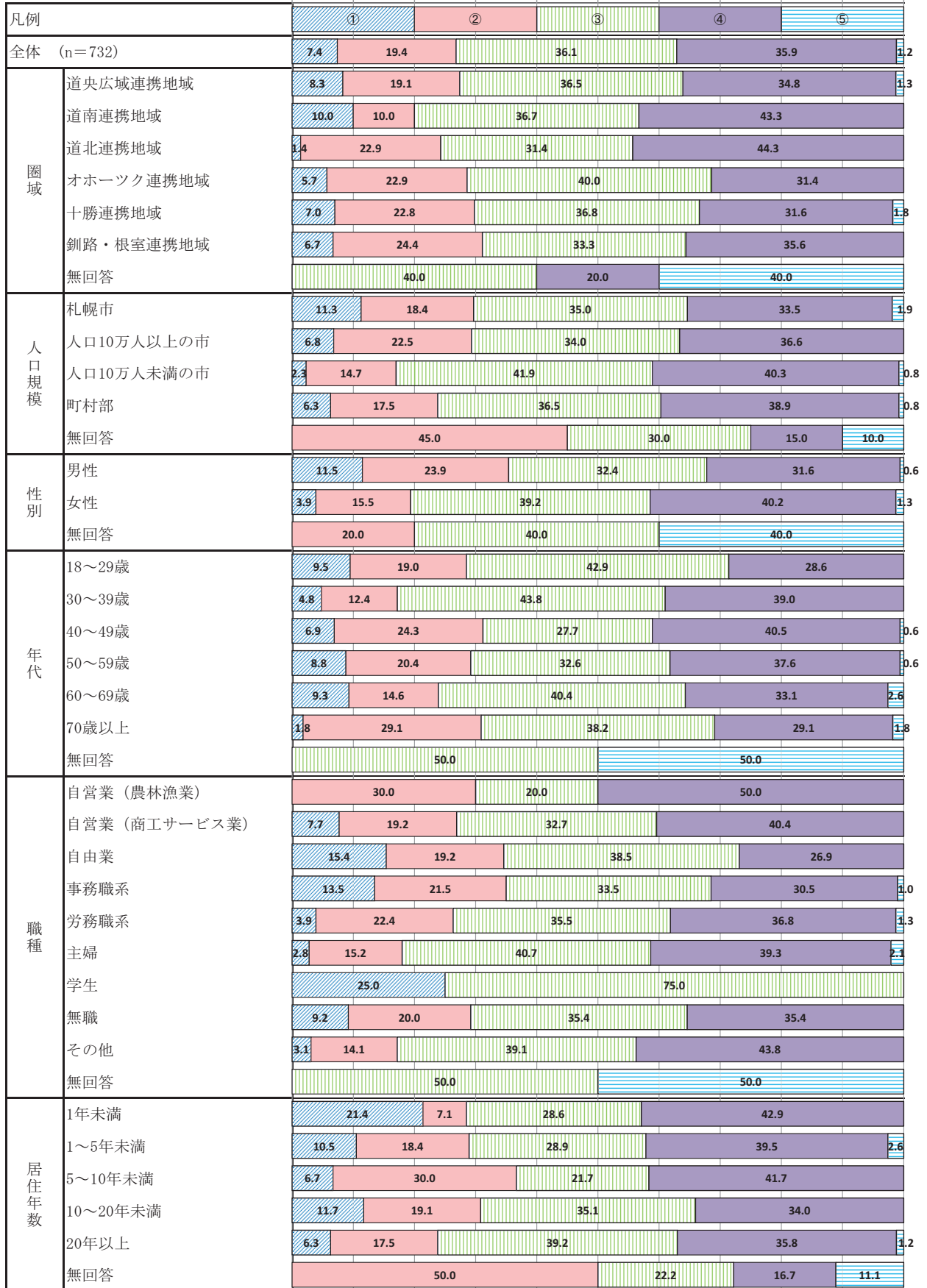
「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」については、主婦(40.7%)が最も割合が高く、次いでその他(39.1%)となっている。「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」については、自営業(農林漁業)(50.0%)が最も割合が高く、次いでその他(43.8%)となっている。

**【居住年数別】**

「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」については、20年以上(39.2%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(35.1%)となっている。「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」については、1年未満(42.9%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(41.7%)となっている。

- ①言葉の意味を知っている ②言葉の意味をある程度知っている  
 ③言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある  
 ④言葉の意味も知らないし、聞いたこともない ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## ■「環境問題に関する道民の関心・取り組み状況について」の調査を終えて

環境問題に関する道民の取り組み状況については、日常生活における環境に配慮した行動を「十分行動している」と答えた方が 7.8% (H25:15.2%)、「少し行動している」と答えた方が 51.9% (H25:61.5%) となっている。

地球温暖化防止に向けて取り組んでいる行動としては、「使っていない照明をこまめに消灯する」が 75.8% (H26:75.8%) と最も高く、次いで「白熱電球を電球型蛍光灯やLEDに取り替える」が 53.1% (H26:47.4%)、「暖房の設定温度を低くする」が 51.5% (H26:44.7%) となっている。

また、93.4% (H26:94.9%) の方が家庭から出るごみを減らしたいと考えており、リサイクルなどには 68.0% (H26:78.8%) の方が取り組んでいる。

環境問題に関する道民の関心については、「3R」という言葉について、「初めて聞いた」(35.2%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(22.0%)と回答された方をあわせると 57.2% (H26:59.1%)、「生物多様性」という言葉について、「言葉の意味も知らないし、聞いたこともない」(35.9%)、「言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」(36.1%)と回答された方をあわせると 72.0% (H26:71.6%) となっており、道民の皆様への浸透が図られていないという面も見られた。

今回の調査結果は、「北海道環境基本計画」(H28-R2)、「北海道環境教育等行動計画」(H26-R5)、「北海道地球温暖化対策推進計画」(H22-R2)、「北海道循環型社会形成推進基本計画」(H27-R1)及び「北海道生物多様性保全計画」(H22-R2)の見直しにおける重要な資料として活用していく。

(環境生活部環境局環境政策課)